

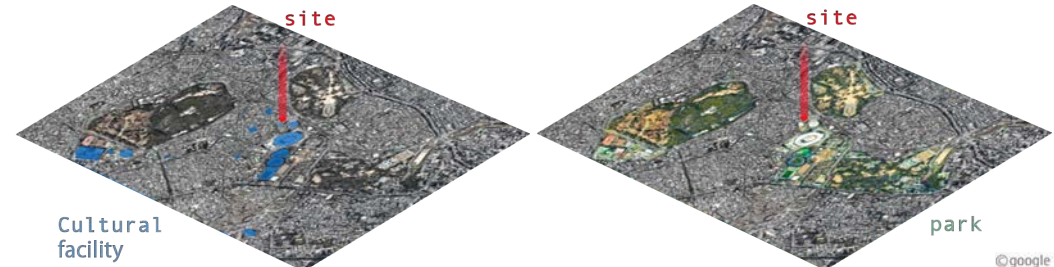
Everyone IN RESIDENCE



Artist in residence 事業のため（アーティストのため）の施設を複合化し、多様な人々のための施設としたため、"Everyone" in residence と名付けた

01 背景

日本人は文化活動のうちスポーツを日常的に楽しみ、健康の保持増進や体力の向上に動いているが、芸術などの創作活動を日常的に楽しむ人は少ない。また、芸術に対しての意識や社会的役割を持っていることへの認識が低い。事実、COVID-19の影響で困難する芸術家や舞台・映画関係者に対する支援策の打ち出しが、欧米諸国に比べ、際立って遅れていたことは記憶に新しい。欧米諸国と日本の芸術に対する意識の違いがうかがえる。これを踏まえ、今回の提案は東京都が掲げる大会後のレガシーを見据えた8つのテーマのひとつに特に着目したものとなっている。『4.大会を文化の祭典としても成功させ、「世界一の文化都市東京」を実現します』というテーマだ。敷地は、様々な人々が行き交うハブである新宿や表参道から近く、都立公園などの緑地や文化施設が多い地域であり、また、最新の流行を担うパレル企業なども集積していることが特徴である。この地を、芸術家を中心とした旅行者や都民の交流を生む場所とすることで、ここを訪れた人々の芸術に対する興味や意識を高め、日本社会全体の芸術に対する価値意識の向上とオリンピックレガシーの達成に貢献することを目的としている。

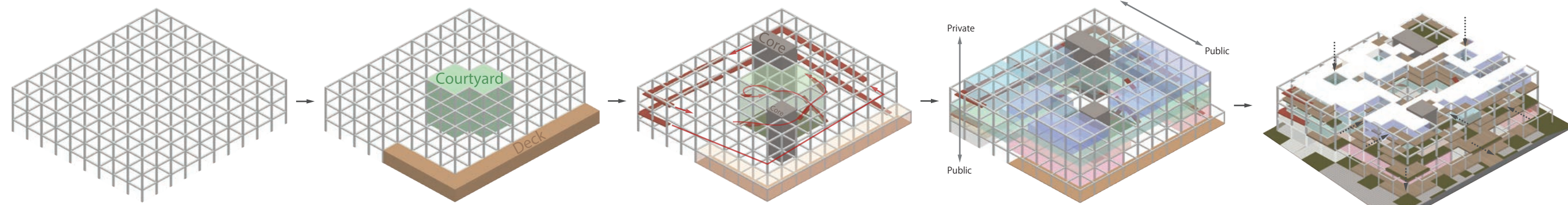


02 提案

この提案はアーティストインレジデンスが中心となった建築である。この場所に国内外からアーティストを集める。そして、この建築を、アーティストの活動拠点とし、周辺の文化施設や公園を表現の場とする。そうすることで、アーティストは多様な人々に作品を公開する機会を得て、市民はアートと触れ合う機会を得る。また、建築内にカフェやホテル、住居などの機能を加え、"Everyone in Residence" とすることでアーティストとそこで作られたアートを中心とした人々、人と文化など多様な交流を生む拠点を生み出した。施設利用や公園利用者の芸術に対する興味や意識を高め、刺激的な交流や創作活動の体験を求めてより多くの人がこの建築を訪れるようになることを期待している。

アーティストが世界中から集まる

04 ダイアグラム



PC造の二層で1フレームのメガラーメン構造を敷地全体に配置する。空間の配置の変更や、将来用途が更新され天井高を大きくする必要がある際にも対応できるスケルトンインフィル建築とした。

中央部分に中庭を配置し、この建築の利用者のためのプライベートな庭を造る。歩道に面する部分はデッキを作り、地域の人々が気軽に利用できるパブリックなスペースとする。

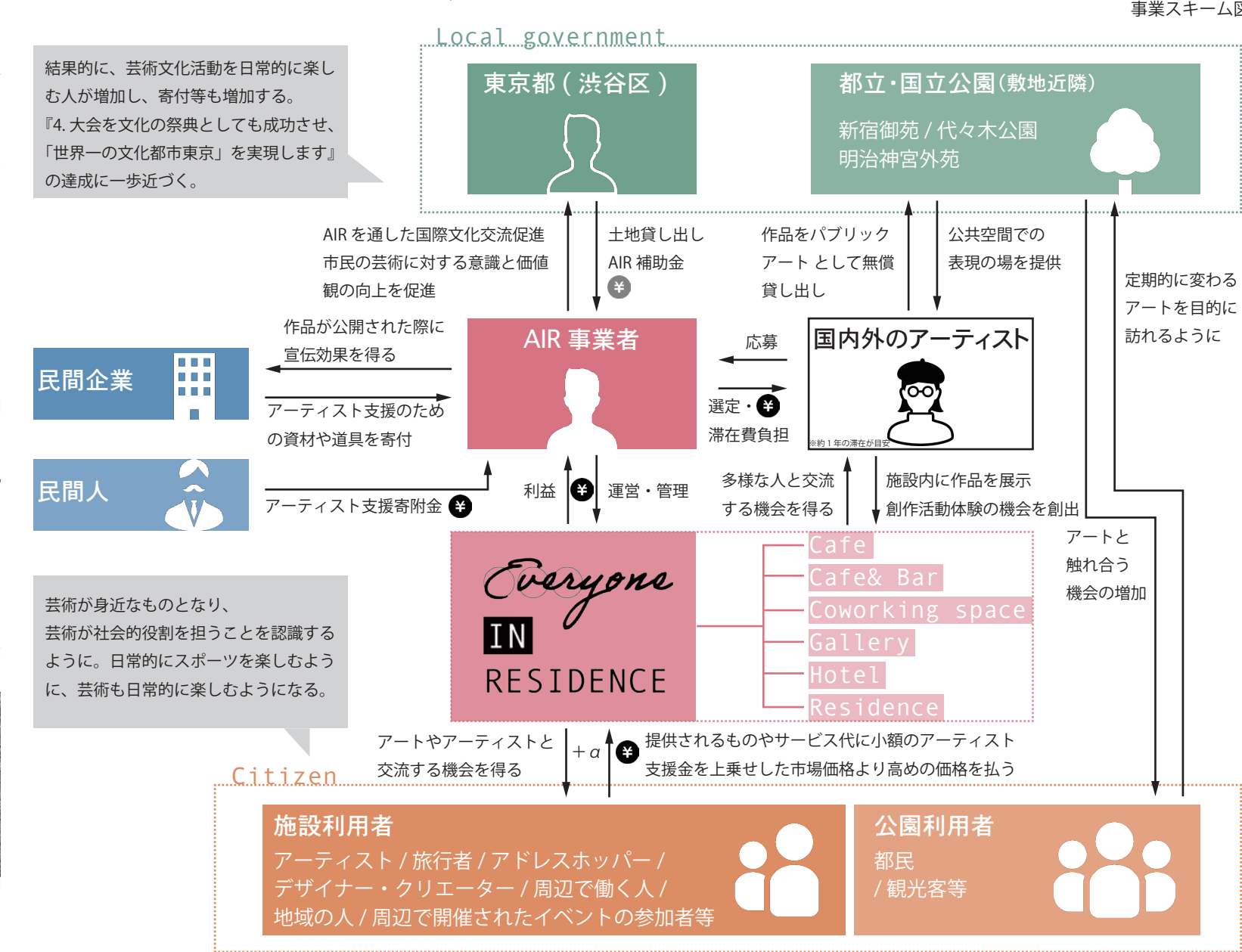
中庭と建築の外周を巡るように階段とスロープを配置する。ここは建築の不变の部分。外から見た時と中から上を見上げた時に、上へと巡りたくるように目に留まる赤とした。

敷地奥と上層になるにつれプライベートな空間になるように配置した。1階は地域にオープンなカフェやイベントエリア、5階は居住エリアとなっている。

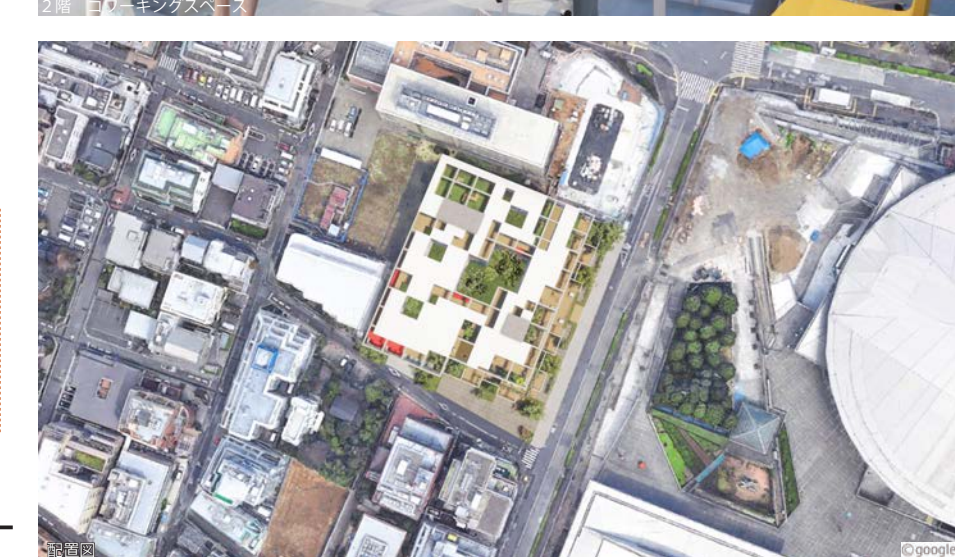
最後に、自然と調和し、街が立体的に重ねられたような空間とするために、外部空間を建築内に引き込む。公園の雰囲気を取り込み、緑あふれる外観となるように、大きく植栽スペースを設けた。

03 プログラム

AIRは、ソフト先行の事業であり、ハード面の取り組みは様々な民家やホテルを用いる場合もある。今回は、AIRのための建築を作ること、通年の事業展開をスムーズにし、随時アーティストの受け入れを可能とした。また、複合施設とすることで、その他の機能で利益を得て、AIR事業にあててことで、金銭面の自治体からの援助を最小限に抑えている。将来的に、この施設の認知度が増加し、利用者や寄附金が増え、十分な資金を確保することができた際には、自治体からの補助金なしで、運営可能となり、AIR改め、EIR (Everyone in Residence) は持続可能な事業となる。



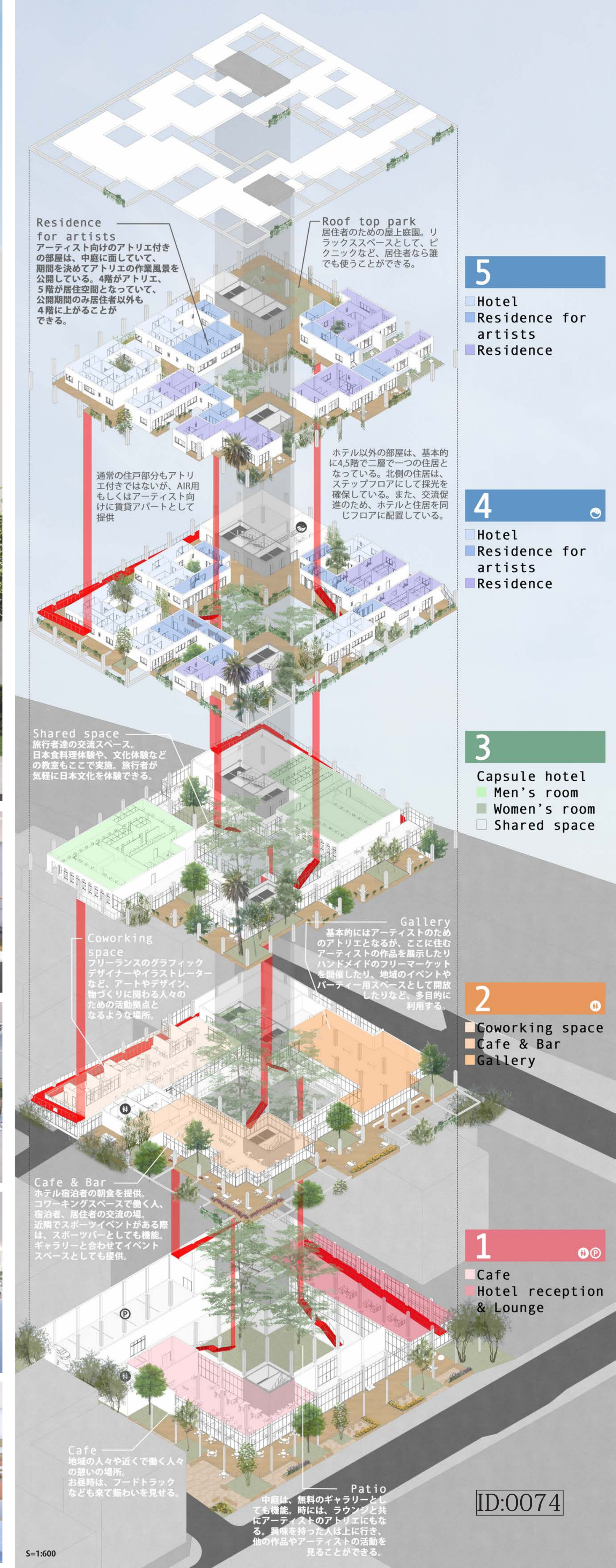
事業スキーム図



05 施設概要

面積表	
敷地面積	4371 m ²
建築面積 (建築率)	2601 m ² (59.5%)
延べ床面積 (容積率)	10030 m ² (230%)
1階延べ床面積 (カフェ、ホテルフロント・ラウンジ、駐車場)	2484 m ²
2階延べ床面積 (カフェ&バー、コワーキングスペース、ギャラリー)	2380 m ²
3階延べ床面積 (カプセルホテル女性 50室、男性 64室、共有スペース)	2092 m ²
4階延べ床面積 (ホテル2人部屋 9室、4人部屋 5室、アトリエ付き住戸 10室、住戸7室)	1729 m ²
5階延べ床面積 (ホテル2人部屋 7室、4人部屋 3室、アトリエ付き住戸 10室、住戸 11室)	1289 m ²

※用途や室数は更新されていくことを前提としているため、延べ床面積は前後する。



Residence for artists
アーティスト向けのアトリエ付きの部屋は、中庭に面していて、期間を決めてアトリエの作業風景を公開している。4階がアトリエ、5階が居住空間となっていて、公開期間のみ居住者以外も4階に上がることができる。

Roof top park
居住者のための屋上庭園。リラックススペースとして、ピクニックなど、居住者なら誰でも使うことができる。

通常の住戸部分もアトリエ付きではないが、AIR用もしくはアーティスト向けに賃貸アパートとして提供

ホテル以外の部屋は、基本的に4.5階で二層で一つの住戸となっている。北側の住戸は、ステップフロアにして採光を確保している。また、交流促進のため、ホテルと住居を同じフロアに配置している。

Shared space
旅行者達の交流スペース。日本食料理体験や、文化体験などの教室もここで実施。旅行者が気軽に日本文化を体験できる。

Coworking space
フリーランスのグラフィックデザイナーやイラストレーターなど、アートやデザイン、物づくりに関わる人々のための活動拠点となるような場所。

Gallery
基本的にはアーティストのためのアトリエとなるが、ここに住むアーティストの作品を展示したりハンドメイドのフリーマーケットを開催したり、地域のイベントやパーティーのスペースとして開放したりなど、多目的に利用する。

Cafe & Bar
ホテル宿泊者の朝食を提供。コワーキングスペースで働く人、宿泊者、居住者の交流の場。近所でスポーツバーなどがある際は、スポーツバーとしても機能。ギャラリーと合わせてイベントスペースとしても提供。

Cafe
地域の人々や近くで働く人々の憩いの場所。お昼時は、フードトラックなども来て賑わいを見せる。

Patio
中庭は、無料のギャラリーとしても機能。時には、ラウンジと共にアーティストのアトリエにもなる。興味を持った人は上に行き、他の作品やアーティストの活動を見ることができる。

中庭は、無料のギャラリーとしても機能。時には、ラウンジと共にアーティストのアトリエにもなる。興味を持った人は上に行き、他の作品やアーティストの活動を見ることができる。

中庭は、無料のギャラリーとしても機能。時には、ラウンジと共にアーティストのアトリエにもなる。興味を持った人は上に行き、他の作品やアーティストの活動を見ることができる。

5

- Hotel
- Residence for artists
- Residence

4

- Hotel
- Residence for artists
- Residence

3

- Capsule hotel
- Men's room
- Women's room
- Shared space

2

- Coworking space
- Cafe & Bar
- Gallery

1

- Cafe
- Hotel reception & Lounge

ID:0074